



かながわ「福島応援」プロジェクト

2026年度 定例総会（第15回）

福島の元気に！
福島笑顔に！
福島に長く関わる！

福島を「知り、楽しみ、食べて、飲んで、つながり」伝えて続けていきましょう。

（震災から15年、福島を訪れ、福島の方々と一緒に活動し、交流する。）

■ **日時** : 2026年6月14日（日） 13:30～14:50

■ **場所** : 男女共同参画センター横浜南フォーラム南太田 2F 第一研修室

式次第

1. 13:30 開会挨拶 / 代表 渡辺孝彦
2. 13:35 議長選出 / 議事録署名人選出
3. 13:40 総会成立確認（正会員の過半数出席）
4. 13:45 議案・審議
 - 13:45 第1号議案 2025年度活動・会計実績 [渡辺]
 - 13:55 第2号議案 2025年度監事監査報告 [田村]
 - 14:05 第3号議案 kfop団体規約改定 [渡辺]
 - 14:15 第4号議案 2026年度役員・報告 [渡辺]
 - 14:30 第5号議案 2026年度活動・予算計画 [渡辺]
6. --:-- 福島の現況報告（今回は勉強会で） [東]
7. 14:30 運営・活動へ討議・意見交換 [渡辺]
8. 14:50 閉会挨拶（10分休憩後、15:00から勉強会）

2025年度の活動の方針 と 実績

私(みなさん)が福島を伝える。福島を訪ねて、見て、聴いて、知って、対話する。
(福島を訪れ、福島の方々と一緒に活動し、交流する。)

【 事業総括 】

事業を実施(定例会、懇親会、活動便(中止便等を含む)など)して、

- ・延べ270名に参加していただいた。累計で3,070人。
- ・会員の活動への参加数は減少であるが、実施は計画の通りである。
- ・登録メンバーの総数は315名と前年比▲3名。
- ・但し連絡不能者10名退会とした上であり、実質7名新規に増えている(情報発信)。
- ・情報発信(勉強会、講演会)が当団体を知っていただく良い機会になっている。

【 事業毎の状況 】

- (事業1) 17便実施(中止便を含む)。
- ・延べ53名(前年比+6名)参加、報告は掲載済み。
- (事業2) 福島訪問を4回計画し3便を実施した。
- ・富岡町、大熊町、双葉町、浪江町および関係先へ挨拶とつながりを維持している。
- (事業3) 視察研修便は計画の通り11月に実施した。
- ・参加者6名。熊出没によりコース変更、中間貯蔵施設およびキウイの国など訪問。
- (事業4) 全体延べ91人参加、情報発信で新規に9名登録していただいた。
- ・勉強会は能登半島地震の活動様子。講演会は2月に実施。自主上映会を12月に実施。
- (事業5) 活動なし
- (維持管理) 定例会、総会、諸会費の納入等、計画運営は予定の通りに実施した。

【 課題 】

- 課題は常にある、変わらない(割愛)。当団体は、福島を伝えることが役割である。
- ・対策は、新しい繋がりもある、今まで、これからの繋がりを大切にする。
 - ・勉強会、講演会は発信に効果がある。視察研修は現地を知る上でも大切である。
 - ・企画・運営の力を更に求めて会員へ発信、活動を進めていく。

【 会計総括 】

- ・計画収入1,293千円(前年度比△344千円予算) / 実績1,174千円で ▲119千円
 災害復旧支援で200千円の計上と追加のご支援金100千円があり。
 実質は+181千円(前年度予算であれば▲163千円)である。
- ・未達は、会費▲15千円、寄付▲67千円※一般寄付
- ・対策は、現地活動便、福島訪問、視察研修、講演会等の予算管理をこまめに行い、活動に支障なく運営が出来た。

【 事業毎の状況 】

1. 現地活動：収入計画366千円(前年度比△255千円)、実績366千円、差±0千円
2. 連携活動：収入計画287千円(前年度比±0千円)、実績287千円、差±0千円
3. 視察研修：収入計画100千円(前年度比△61千円)、実績90千円、差▲10千円
4. 情報発信：収入計画149千円(前年度比△12千円)、実績268千円、差+119千円
5. 災害支援：収入計画200千円(前年度比±0千円)、実績12千円、差▲188千円
6. 維持管理：収入計画190千円(前年度比△15千円)、実績150千円、差▲40千円

【 課題 】

- 課題は事業に同じで常にある、変わらない(割愛)。
- ・その上で、変わらぬ会員、寄付がある。
 - ・みなさんに感謝し、各活動を通して、会員、会費、寄付へとつなげていく。
 - ・対策は、現地集合解散、自家用車、自費活動などの運用を今後も活用する。
 - ・活動便の実費(運転者を除き@3,000円、2泊の時は@5,000円)も継続
 ※kfopを代表して活動の時は除く。過度な役員負担にならないことは配慮。
 - ・全体の予算をこまめに確認、活動資金は、会費、寄付(含む支援金)の運営を継続。
 - ・助成金には頼らずに小さいながらも生きた長い活動を進めて行く。

<第1号議案> 2025年度活動実績 [報告:渡辺]

《事業1》 現地活動 事業担当：渡辺、東

<p>計画</p>	<p>現地が必要とする復旧復興のニーズに応え、一緒に汗をかく、つながる。9便を計画。 (1)レンタカー、自家用車相乗り、現地集合解散で計画する (2)活動に加えてミニ視察研修など、一泊二日で地元の様子を見ることのできる企画とする</p>
<p>実績</p>	<p>◎ レンタカー、自家用車利用、現地集合など実施。1便追加して10便実施／参加延べ53人。 計画通りで実施した。追加はキウイの植樹、他2便自主活動。 (実施) 葛尾田植え・稲刈り、浪江花卉栽培、長井田植え・草取り・稲刈り（自費活動）、 田村ホップ収穫、双葉町ダルマ市、キウイの植樹、自主活動は桜の手入れ2回 (課題) 参加者固定。継続していくことが大事・発信であり参加者固定は拘らない。</p>

《事業2》 連携活動 事業担当：東、渡辺

<p>計画</p>	<p>被災・避難当事者のためのつなぎ手となり、他団体や行政との連携を図る。年4回を計画。 (1)各種交流会、情報連携会議に出席する (2)福島訪問。双葉郡（富岡町・大熊町・双葉町・浪江町他）を中心に訪問し繋がりを続ける。</p>
<p>実績</p>	<p>◎ 現地訪問で双葉郡の各行政、関係先との連携を進めた。2回実施（2便見合せ）。 2回の訪問に留まったが、現地との繋がりを維持、目的は達成している。 ①現地訪問は、2回で目的が達成されたので2回は見送った。2026年度は3回を計画。 ②SSVN総会出席。運営委員会は日が合わず欠席が多かった。 ③あゆむ会総会（理事会も同日開催）は都合がつかない日で開催のため欠席となった。</p>

<第1号議案> 2025年度活動実績 [報告:渡辺]

《事業3》 視察研修 事業担当：渡辺、東

<p>計画</p>	<p>福島県内の地域を訪問して、福島の当時・今・これからを伝えていく。11月に計画。 (1)実施形態：レンタカー、現地集合・解散、一泊（各自実費） (2)視察計画：11月15日（土）～16日（日）、中間貯蔵施設（大熊ルート）、地権者のお話。</p>
<p>実績</p>	<p>◎ レンタカー運用で実施した。参加者7名（内1名体調不良で欠席）。 除去土、中間貯蔵施設の視察は福島を知る一つの場として実施した。 ・実施日：2025年11月15日（土）～16日（日）、一泊二日。 ・視察先：中間貯蔵施設（双葉ルート）、双葉町、キウイの国（講演会、植樹に繋がった） ・お 話：大熊は熊出没で変更。地権者のお話は調整つかず断念。双葉町の方のお話を伺った。</p>

《事業4》 情報発信 事業担当：東、渡辺、平野

<p>計画</p>	<p>講演会、勉強会、オンラインイベント等を通じて、福島の現状、生の声を神奈川に伝える。 (1)勉強会：2025年6月7日（土） (2)講演会：2026年1月17日（土）</p>
<p>実績</p>	<p>◎ 会場開催で勉強会、講演会、追加で自主上映を開催した。総参加者数91名。 勉強会、講演会、自主上映会は運営の負担はあるが、新しい方との繋がりが良い。 ・勉強会（28名）：6月7日（土）能登半島地震のその後の状況と多様な支援のありかた ・自主上映会（33名）：12月13日（土）そこにあるべきものたち ・講演会（30名）：2月8日（日）大熊町でキウイを育て、未来につなぐ</p>



<第1号議案> 2025年度活動実績 [報告:渡辺]

《事業5》 災害復旧支援 事業担当：平野、他

計画	<p>動ける体制を整える。災害時の支援要請に応じ活動する。</p> <p>(1)国内で自然災害等が発生した場合に現地活動に限らず、動ける体制整備。 (2)実際の活動については現地の状況に応じて決定する。平時から他団体との情報交換。</p>
実績	<p><u>— 特に実施はない。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・能登半島支援の講師をお招きしての勉強会を開催した。 ・具体的に当団体としての現地支援の計画はないが、良い情報として発信できた。

《維持管理》 維持管理 担当：渡辺、東

計画	<p>維持管理に特化して運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会は6月に計画、定例会は会場を4回として、他はZoom開催とする。 ・団体会費、維持諸手続き、諸経費の対応
実績	<p><u>◎ 計画の通り実施した。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第14回総会：2025年6月7日（土）開催（14名出席、議案は全て承認）、懇親会も13名参加。 ・定例会：毎月開催（4人～6名の出席）、会場開催も行った。 ・団体会費他：あゆむ会、SSVN、Zoom、WEBアルバム、県サポ対応など支障なく実施した。

《有志活動》

計画/実績	<p>スポット。「美味しいふくしま」を通して福島食、文化、地域の魅力を伝えるなど。特になし。</p>
-------	--



<第1号議案> 2025年度会計実績 [報告:渡辺]

科目	事業1 現地活動	事業2 連携活動	事業3 視察研修	事業4 情報発信	事業5 災害支援	事業 部門計	維持管理	合計
I 経常収益								
※1 1. 受取会費(新規)	0	0	0	0	0	0	65,000	65,000
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	80,000	80,000
※1 2. 受取寄付金(新規)	74,220	19,840	50,000	59,795	0	203,855	0	203,855
【事業計画】	74,220	19,840	50,000	99,500	0	243,560	26,440	270,000
※1 3. 受取支援金等	50,000	50,000	40,000	160,000	0	300,000	0	300,000
【事業計画】	50,000	50,000	50,000	50,000	0	200,000	0	200,000
※1 4. 受取目的寄付等	0	0	0	0	12,300	12,300	0	12,300
(※2助成金)【事業計画】	0	0	0	0	200,000	200,000	0	200,000
5. 事業収益(参加費)	0	0	0	49,000	0	49,000	0	49,000
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
※1 6. 前期繰越金(寄付)	195,006	217,520	0	0	0	412,526	0	412,526
※1 7. 前期繰越金(目的)	0	0	0	0	0	0	0	0
※1 8. 前期繰越金(会費)	46,834	0	0	0	0	46,834	84,221	131,055
9. その他収益	0	0	0	0	0	0	1,069	1,069
経常収益計	366,060	287,360	90,000	268,795	12,300	1,024,515	150,290	1,174,805
【事業計画計】	366,060	287,360	100,000	149,500	200,000	1,102,920	190,661	1,293,581

未達額
118,776円



<第1号議案> 2025年度会計実績 [報告:渡辺]

II 経常費用	事業1 現地活動	事業2 連携活動	事業3 視察研修	事業4 情報発信	事業5 災害支援	事業 部門計	維持管理	合計
(1) 人件費								
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
諸謝金	0	0	10,000	40,000	0	50,000	0	50,000
【事業計画】	0	0	10,000	40,000	0	50,000	0	50,000
源泉徴収額	0	0	0	1,137	0	1,137	0	1,137
【事業計画】	0	0	0	5,500	0	5,500	0	5,500
印刷製本費	0	0	0	2,780	0	2,780	24,980	27,760
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	48,000	48,000
会議費	0	0	0	20,900	0	20,900	3,400	24,300
【事業計画】	0	0	0	50,000	0	50,000	40,800	90,800
旅費交通費	139,988	99,176	33,839	27,635	0	300,638	0	300,638
【事業計画】	342,960	226,560	60,000	44,000	200,000	873,520	0	873,520
車両費	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	430	430
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	7,500	7,500
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	0	385	385	1,100	0	1,870	0	1,870
【事業計画】	0	0	550	0	0	550	0	550
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	8,000	0	0	0	8,000	32,495	40,495
【事業計画】	0	8,000	0	0	0	8,000	32,120	40,120
支払負担金	9,100	0	0	110,000	0	119,100	0	119,100
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	2,592	15,340	0	23,280	0	41,212	0	41,212
【事業計画】	23,100	52,800	29,450	10,000	0	115,350	62,241	177,591
その他経費計	151,680	122,901	44,224	226,832	0	545,637	61,305	606,942
【事業計画計】	366,060	287,360	100,000	149,500	200,000	1,102,920	190,661	1,293,581
経常費用計	151,680	122,901	44,224	226,832	0	545,637	61,305	606,942
【事業計画計】	366,060	287,360	100,000	149,500	200,000	1,102,920	190,661	1,293,581
当期経常増減額	214,380	164,459	45,776	41,963	12,300	478,878	88,985	567,863
【事業計画計】	0	0	0	0	0	0	0	0

削減額
△686,639円



<第2号議案> 2025年度監事監査 [報告:田村]

監事監査の目的	監事監査結果
<p>1. 役割 監事はkfop活動を独立した立場でkfop会計および事業の実施状況を監査する。 不備、不具合、改善点があれば、指摘および改善を指導する。</p> <p>2. 位置付け 正会員であるが、総会（事業計画、実績）の議決権は有しない（独立の立場）</p> <p>3. 監査サイクル 監査は四半期毎に行い、代表宛に報告する。 年度末に年度の監事監査を行い、代表に報告する。</p> <p>4. 目的1：事業監査 事業、規約、期初計画に沿う事業実施であるか</p> <p>目的2：会計監査 事業、規約、期初計画に沿う会計実施であるか</p>	<p>かながわ「福島応援」プロジェクト（以下、「kfop」という。）の2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）の事業及び会計について監査したので報告する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1. 監査方法の概要</p> <p>代表・会計から報告及び総会・定例会・活動の状況を受け、また、ホームページや重要な関連書類を閲覧し、事業及び会計について監査を実施した。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2. 監査結果</p> <p>詳細次ページ、監査報告書は別添。</p> <p style="text-align: right;">2026（令和8）年4月28日</p> </div>



<第2号議案> 2025年度監事監査 [報告：田村]

1) 事業監査

総括として、事業は概ね良好である。

- これからも、会員が福島へ関心を寄せ続けて行くことが肝要である。
- 2025年度は年度の53事業を計画通り実施して、参加者は延べ270人であった。登録メンバーは315名で前年より3名の減であった。但し連絡不能者10名を退会とし、新規加入者が7名あったので、増である。正確な活動のために整理は必要である。
- 現地活動、福島訪問、視察研修も概ね計画通りに実施した。現地活動や視察研修の会員参加は十分ではない。しかし、参加者に沿った企画と連絡募集が行われていた。
- 身近で福島を知るために、講演会・勉強会・上映会を開催した。この案内の「情報発信」では、若い世代からの参加があり、福島に関心を寄せる人達がいることを知ることができた。

2) 会計監査

総括として、会計収支元帳、預金通帳、領収書等証拠書類、活動計画書、財務諸表注記等のすべて相違なく適正に処理されていることを確認した。但し、事業同様に会員が福島へ関心を寄せ続けて行き、会費および寄付増へ繋がるのが肝要である。

- 予算は、財務諸表の注記の通り計画収入1,293千円、これに対して実績収入は606千円と計画比▲451千円であった。特に会員の会費、一般寄付が大幅に未達であった。
- 事業運営は活動の一部調整、自家用車の運用、見通しのこまめな管理で概ねの計画を達成してきている。
- kfop事業は会費、寄付で運営できている、事業の報告にも関連するが会員が福島へ関心を寄せ続けて行くことが肝要である。支出は、前述の通り調整、こまめな管理で不足なように進められた。特に問題はない。

<第2号議案> 2025年度監事監査 [報告:田村]

3) 監事提言・期待

(1) 評価

- ・課題表記の「参加者（私、みなさん）」が、とても心に伝わる言葉である。
- ・ホームページでは、常に更新されkfopの様子が分かる。募集案内では、詳細の計画案内がされている。
- ・多くの方々から継続的に寄付や支援を頂いている。
丁寧な情報発信と運営から、多くの方から信頼されていることを伺える。役員さんの熱心な活動に感謝します。
- ・福島訪問や活動では、事前の連絡調整を丁寧に行い、現地の要望や行事に合わせた活動を行っていた。
- ・連絡不能会員の退会としたきちんとした姿勢の運営を行っている。
- ・福島を伝える活動として自主上映会は、意味と成果があった。

(2) 期待

- ・現地活動の計画は、現地集合解散の参加など、参加者の都合にあった計画があった。いろいろの大変ですが、参加者に沿った多様な参加企画を続けて欲しい。
- ・福島を伝える活動として上映会は、参加しやすい活動であることがわかった。
これからも機会があれば、継続を期待したい。
- ・講演会では、福島の方の話で、本当の福島、本音の福島の心を聴かせて頂いた。直接聞くことは、横浜での福島体験であった。（登録メンバーの増加に繋がっていた）これが、現地活動に繋がることを期待したい。

(3) 提言

- ・登録メンバーの増加は、講演会や勉強会等の参加が切っ掛けと聞き、講演会勉強会の**広報を広げ参加者を増やし、会員参加まで繋げたい。**
- ・活動便、視察研修便に一人でも多くの参加者が増えることが必要である。活動報告や募集案内に、**写真などで活動様子をもっと伝えたい。**



<第2号議案> 2025年度監事監査 [報告:田村]

かながわ「福島応援」プロジェクト
監事 田村 武司

監事報告書(2025年度決算)

かながわ「福島応援」プロジェクト(以下、「kfop」という。)の2025年度(令和7年4月1日~令和8年3月31日)の事業及び会計について監査したので報告する。

1. 監査方法の概要

代表・会計からの報告及び総会・定例会・活動の状況を受け、また、ホームページや重要な関連書類を閲覧し、事業及び会計について監査を実施した。

2. 監査結果

(1) 事業監査

総括として、事業は概ね良好である。

これからも、会員が福島へ関心を寄せ続けて行くことが肝要である。

2025年度は年度の53事業を計画通り実施して、参加者は延べ270人であった。

登録メンバーは315名で前年より3名の減であった。但し連絡不能者10名を退会とし、新規加入者が7名あったので、増である。正確な活動のために整理は必要である。

現地活動、福島訪問、視察研修も概ね計画通りに実施した。現地活動や視察研修の会員参加は十分ではない。しかし、参加者に沿った企画と連絡募集が行われていた。

身近で福島を知るために、講演会・勉強会・上映会を開催した。この案内の「情報発信」では、若い世代からの参加があり、福島に関心を寄せる人達がいることを知ることができた。

(2) 会計報告

総括として、会計収支元帳、預金通帳、領収書等証拠書類、活動計画書、財務諸表注記等のすべて相違なく適正に処理されていることを確認した。但し、事業同様に会員が福島へ関心を寄せ続けて行き、会費および寄付増へ繋がるのが肝要である。

予算は、財務諸表の注記の通り計画収入1,293千円、これに対して実績収入は606千円と計画比▲451千円であった。特に会員の会費、一般寄付が大幅に未達であった。

事業運営は活動の一部調整、自家用車の運用、見通しのこまめな管理で概ねの計画を達成してきている。kfop事業は会費、寄付で運営できている、事業の報告にも関連するが会員が福島へ関心を寄せ続けて行くことが肝要である。

支出は、前述の通り調整、こまめな管理で不足なように進められた。特に問題はない。

3. 監事提言・期待

(1) 評価

- ・課題表記の「参加者(私、みなさん)」が、とても心に伝わる言葉である。
- ・ホームページでは、常に更新されkfopの様子が分かる。募集案内では、詳細の計画案内がされ

ている。

- ・多くの方々から継続的に寄付や支援を頂いている。丁寧な情報発信と運営から、多くの方から信頼されていることを伺える。役員さんの熱心な活動に感謝します。
- ・福島訪問や活動では、事前の連絡調整を丁寧に行い、現地の要望や行事に合わせた活動を行っていた。
- ・連絡不能会員の退会としたきちんとした姿勢の運営を行っている。
- ・福島を伝える活動として自主上映会は、意味と成果があった。

(2) 期待

- ・現地活動の計画は、現地集合解散の参加など、参加者の都合にあった計画があった。いろいろ大変ですが、参加者に沿った多様な参加企画を続けて欲しい。
- ・福島を伝える活動として上映会は、参加しやすい活動であることがわかった。これからも機会があれば、継続を期待したい。
- ・講演会では、福島の方の話で、本当の福島、本音の福島の心を聴かせて頂いた。直接聞くことは、横浜での福島体験であった。(登録メンバーの増加に繋がっていた)これが、現地活動に繋がることを期待したい。

(3) 提言

- ・登録メンバーの増加は、講演会や勉強会等の参加が切っ掛けと聞き、講演会勉強会の広報を広げ参加者を増やし、会員参加まで繋げたい。
- ・活動便、視察研修便に一人でも多くの参加者が増えることが必要である。活動報告や募集案内に、写真などで活動様子をもっと伝えたい。

以上
令和8年4月28日
監事 田村 武司

2026年度の活動方針

福島を「知り、楽しみ、食べて、飲んで、つながり」伝えて続けていきましょう。

(震災から15年、福島を訪れ、福島の方々と一緒に活動し、交流する。)

● 活動前提 ●

- ①現地との関わりがある活動（視察研修や講演会）を優先して進める。
- ②現地活動はリピーターも多く予算勘案で自費活動も進めていく。
- ③災害ボランティアも軸となる事業のひとつである。スポットで助成金を申請し対応する。
- ④若年層・アクティブな参加者増へ活動の発信を進めていく。

【 事業 】

- 当団体は、福島を伝えることが役割である。
- ・新しい繋がりもある、今まで、これからの繋がりを大切に。
- ・勉強会、講演会は発信に効果がある。視察研修は現地を知る上でも大切である。
- ・企画・運営の力を更に求めて会員へ発信、活動を進めていく。

【 事業毎 】

- (事業1：現地活動) 計画9便** (内自費4便)、他検討3便(桜の手入れ)、各便7名。
目的(参加者へ伝え)、ボランティア活動保険の対象有無を明示して募集する。
- (事業2：連携活動) 計画3便** (主に福島訪問)
目的は、双葉郡(富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、他市町村・関係)との繋がり。
双葉町の西住宅、ふたばプロジェクトとの繋がりも続けて行く。
- (事業3：視察研修) 計画1便** (現時点では11月)
10名未満で交流のある視察研修便とする。
イチエフの視察と廃炉・中間貯蔵について知る。をテーマに計画中。
- (事業4：情報発信) 計画：勉強会1回、講演会1回**
勉強会は、福島大学の講師をお招き「原発事故15年 福島「普通」の避難者たち」
講演会は、視察研修と連携した講師をお招きすることで計画中。
- (事業5：災害復旧支援)** 状況に応じて
- (維持管理)** 定例会、総会、諸会費の納入等

【 会計 】

- みなさんに感謝し、各活動を通して、会員、会費、寄付へとつなげていく。
- ・現地集合解散、自家用車、自費活動などの運用を今後も活用する。
活動便の実費(運転者を除き@3,000円、2泊の時は@5,000円)も継続
※kfopを代表して活動の時は除く。過度な役員負担にならないことは配慮。
- ・全体の予算をこまめに確認、活動資金は、会費、寄付(含む支援金)の運営を継続。
助成金には頼らずに小さいながらも生きた長い活動を進めて行く。
- ・計画収入：1,232,863千円 / 前年度1,293,581千円 (前年度比△61千円)
収入計画：会費75,000円(正会員25名、賛助会員15名) / (前年度24名、14名)
一般寄付200,000円、ご支援200,000円 / 前年度516,155円
災害復旧支援200千円(必要時に調達) / 前年度0円
前年度繰越金567,863円 / 前年度543,581円

【 事業毎 】

- | | | | |
|-------------------|---|----------|---------|
| 1. 現地活動：収入計画287千円 | / | 前年度366千円 | 対比△79千円 |
| 2. 連携活動：収入計画214千円 | / | 前年度287千円 | 対比△73千円 |
| 3. 視察研修：収入計画115千円 | / | 前年度100千円 | 対比+15千円 |
| 4. 情報発信：収入計画231千円 | / | 前年度150千円 | 対比+81千円 |
| 5. 災害支援：収入計画212千円 | / | 前年度200千円 | 対比+12千円 |
| 6. 維持管理：収入計画174千円 | / | 前年度191千円 | 対比△17千円 |



<第3号議案> 団体規約改定

[報告:渡辺]

改訂規約

第6条（総会、定例会の成立・議決

3. 定例会は、年度計画に基づく運営事案、追加事業案の決定を行う。

改訂後

（1）役員及び正会員の**3名以上**（委任状出席を含む）の出席をもって成立するものとする。

改訂前

（1）役員及び正会員の**5名以上**（委任状出席を含む）の出席をもって成立するものとする。

改訂要旨

3名以上に改定する。

理由：出席者の減少から運営に支障となることを回避する。

但し、本総会にて、定例会出席者が常時5名以上（委任状出席を除く）および役員が5名以上となるのであれば、本改訂の取り下げも可である。





<第4号議案> 2026年度役員

[報告:渡辺]

役員				事業担当役員		
区分	役割	氏名	兼務等	事業	事業名	主担当
役員	代表	渡辺 孝彦	会計、渉外、 あゆむ会 副理事長 SSVN運営委員	事業1	現地活動	渡辺 孝彦, 東 尚子
	広報	東 尚子		事業2	連携活動	渡辺 孝彦, 東 尚子, 平野 香誉子
	災害 復旧 支援	平野 香誉子		事業3	視察研修	渡辺 孝彦, 東 尚子
監事	新任	鷹野 克彦	事業監査、会計監査	事業4	情報発信	東 尚子, 平野 香誉子, 渡辺 孝彦
	退任	田村 武司	お疲れさまでした。	事業5	災害復旧支援	平野 香誉子, 東 尚子, 渡辺 孝彦
役員は2026年度から2年の任期です。				維持管理		渡辺 孝彦, 東 尚子
				有志活動 ※1		全役員
				※1 「美味しいふくしま」は有志活動の一つです。		



<第5号議案> 2026年度活動計画 [報告:渡辺]

《事業1》 現地活動 事業担当：渡辺、東

<p>計画</p>	<p>福島県内の復旧復興、新たな地域づくり、なりわいづくり、交流人口拡大等の一助となるために一緒に汗を流し、つながる。9便を計画する（追加3便検討）。 <予算：287,300円></p> <p>(1)レンタカー、自家用車相乗り、現地集合解散などで計画する (2)高速代、燃料代は、参加者で上限@3,000円を実費按分する（2泊のときは@5,000円） ①田植え・稲刈りは、葛尾村と山形県長井市で例年参加、5月と9月～10月で計画。 ②浪江町の花き栽培のお手伝いを計画する（繁忙期の手伝い） ③田村市のホップジャパンでのお手伝い（麦栽培、ホップ収穫等、適宜）を計画する。 ④双葉町ダルマ市でのお手伝い（ふたばプロジェクト他）を計画する。 ⑤追加検討は、桜の手入れ3便。 ⑥その他、会員の企画に応じて計画する（個人参加可）</p>
-----------	---

《事業2》 連携活動 事業担当：渡辺、東、平野

<p>計画</p>	<p>被災・避難当事者のためのつなぎ手となり、他団体や行政との連携を図る。 <予算：213,920円> 3便を計画する。</p> <p>(1)現地訪問を年3回実施する（継続） (2)各種交流会、情報連携会議に出席する。連福など支援団体登録も継続する。 (3)かながわ避難者と共にあゆむ会（以下あゆむ会）の団体会員を継続する。会費：5,000円 (4)相模原災害ボランティアネットワークの団体会員を継続する。会費3,000円</p>
-----------	---



<第5号議案> 2026年度活動計画 [報告:渡辺]

《事業3》 視察研修 事業担当：渡辺、東

<p>計画</p>	<p>福島県内の地域を訪問して視察研修を実施し、福島の当時・今・これからを伝えていく 継続計画する。 <予算：114,550円></p> <p>団体として継続して視察研修を実施していく。</p> <p>(1)実施形態：現地集合、現地解散、現地レンタカー、一泊（各自で調達・実費支払い） (2)実施時期：2026年11月14日（土）～15日（日）で計画（仮置） (3)予算見込：レンタカー代、高速代、ガソリン代、宿泊費用、雑費他 (4)視察計画：イチエフの視察と廃炉・中間貯蔵について知る。で調整。</p> <p>①宿泊費、飲食費は参加者実費 ②参加費：参加者の実費×最低7人</p>
-----------	--

《事業4》 情報発信 事業担当：東、渡辺、平野

<p>計画</p>	<p>講演会、勉強会、オンラインイベント等を通じて、福島の現状、生の声を神奈川に伝える。 勉強会、講演会を計画する。 <予算：230,500円></p> <p>(1)勉強会：2026年6月14日（日）※総会に続けて行う (2)講演会：2027年1月16日（土）※講師候補は、視察研修に連動して調整していく。 (3)その他：福島の情報、活動の様子など発信していく (4)講演会は、可能であれば「美味しいふくしま形式」で開催したい（継続検討）</p>
-----------	---





<第5号議案> 2026年度活動計画 [報告:渡辺]

《事業5》 災害復旧支援 事業担当：平野、東、渡辺

計画	<p>発災時に機動的に動く。災害時の支援要請に応じ活動する。 <予算：212,300円></p> <p>(1)国内で自然災害等が発生した場合に現地活動に限らず、動ける体制整備を継続する (2)かながわ災害ボランティア活動支援室登録団体としての活動を行う (3)相模原市の災害においてはSSVNと連携する (4)協働が見込めるところは連携し、協働が見込めないところはやむなし、kfop単独で動く (5)災害時の活動資金は、財団の助成金等を申請して活動する（災害活動に限定）</p>
----	---

《維持管理》 担当：渡辺、東

計画	<p>基本の維持管理とする <予算：231,753円></p> <p>(1)総会：6月14日（土）※勉強会、懇親会も行う (2)定例会は、 ①四半期ごとにリアル開催し、その後懇親会を設ける。 ②他の月は、Zoomオンライン（20:00-22:00）で開催とする。 (3)その他、維持管理事項の管理を行う ①印刷製本費、②会議費、③通信費③WEBアルバム、④Zoom、⑤ロッカー代等の管理</p>
----	---

《有志活動》

計画	スポット。「美味しいふくしま」など
----	-------------------





<第5号議案> 2026年度予算計画 [報告:渡辺]

科目	事業1 現地活動	事業2 連携活動	事業3 視察研修	事業4 情報発信	事業5 災害支援	事業 部門計	維持管理	合計
I 経常収益								
※1 1. 受取会費(新規)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	65,000	65,000
※1 2. 受取寄付金(新規)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	50,000	50,000	50,000	50,000	0	200,000	0	200,000
※1 3. 受取支援金等	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	50,000	50,000	50,000	50,000	0	200,000	0	200,000
※1 4. 受取目的寄付等	0	0	0	0	0	0	0	0
(※2助成金)【事業計画】	0	0	0	0	200,000	200,000	0	200,000
5. 事業収益(参加費)	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
※1 6. 前期繰越金(寄付)	74,220	19,840	14,550	41,963	0	150,573	26,440	177,013
※1 7. 前期繰越金(目的)	0	0	0	0	12,300	12,300	0	12,300
※1 8. 前期繰越金(会費)	113,080	94,080	0	88,537	0	295,697	82,853	378,550
9. その他収益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	187,300	113,920	14,550	130,500	12,300	458,570	109,293	567,863
【事業計画計】	287,300	213,920	114,550	230,500	212,300	1,058,570	174,293	1,232,863

詳細は、kfop2026-k0001-03 2026年度(R08)_活動方針、事業計画、予算計画v15.0をご参照ください。



<第5号議案> 2026年度予算計画 [報告:渡辺]

II 経常費用	事業1 現地活動	事業2 連携活動	事業3 視察研修	事業4 情報発信	事業5 災害支援	事業 部門計	維持管理	合計
(1)人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	30,000	70,000	0	100,000	0	100,000
源泉徴収額	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	4,000	9,500	0	13,500	0	13,500
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	3,000	0	3,000	20,000	23,000
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	50,000	0	50,000	13,200	63,200
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	270,800	169,920	80,000	73,000	200,000	793,720	0	793,720
車両費	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	1,000	1,000
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	550	0	0	550	0	550
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	8,000	0	0	0	8,000	32,120	40,120
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	16,500	36,000	0	25,000	12,300	89,800	107,973	197,773
その他経費計	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画計】	287,300	213,920	114,550	230,500	212,300	1,058,570	174,293	1,232,863
経常費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画計】	287,300	213,920	114,550	230,500	212,300	1,058,570	174,293	1,232,863
当期経常増減額	187,300	113,920	14,550	130,500	12,300	458,570	109,293	567,863
【事業計画計】	0	0	0	0	0	0	0	0

その他詳細は、kfop2025-k0001-03 2025年度(R07)_活動方針、事業計画、予算計画v14.0をご参照ください。



今後の運営・活動へ討議・意見交換

kfop活動の運営、活動について（役員、正会員、賛助会員、一般会員他全員で）

福島を「知り、楽しみ、食べて、飲んで、つながり」伝えて続けていきましょう。
（震災から15年、福島を訪れ、福島の方々と一緒に活動し、交流する。）

2011年3月11日の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から2026年で15年になります。福島は状況は変わり続けていますが、現在も、7市町村（南相馬市、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村）に帰還困難区域があります。私たちの活動によって何かを大きく動かせることはないかもしれませんが、関心を持ち続け、福島を「知り、楽しみ、食べて、飲んで、つながり」伝えて続けていきましょう。皆さんも、できる範囲で関わり続けていただけたらと願います。

①体制（含む役員）、③事業内容について皆さんで討議。意見交換していただき、今後の活動へ反映していきたい。

具体的には以下。

①体制（役員3名、監事1名）

・意見・討議集約：

②事業

・事業1（現地活動）、事業2（連携活動）、事業3（視察研修）、事業4（情報発信（講演会、勉強会））

・事業5（災害復旧支援）

・意見・討議集約：





福島の現況報告 [報告:東]

今回は勉強会で





かながわ「福島応援」プロジェクト

2026年度 定例総会（第15回）

福島の元気に！
福島笑顔に！
福島に長く関わる！

福島を「知り、楽しみ、食べて、飲んで、つながり」伝えて続けていきましょう。

（震災から15年、福島を訪れ、福島の方々と一緒に活動し、交流する。）

本日の総会は、これで全て終了となります。

これからも宜しくお願いします。

End